【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【公開番号】特開2016-47910(P2016-47910A)
【公開日】平成28年4月7日(2016.4.7)
【年通号数】公開・登録公報2016-021
【出願番号】特願2015-80624(P2015-80624)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　18/79　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/66　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　7/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　1/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　18/79　Ｗ
Ｃ０８Ｇ　18/66　Ｄ
Ｇ０２Ｃ　7/00
Ｇ０２Ｂ　1/04

【手続補正書】
【提出日】平成30年1月16日(2018.1.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリイソシアネート（ａ）と、
脂環族ポリイソシアネート（ｂ）と、
水酸基価が３００～６５０ｍｇＫＯＨ／ｇであり、平均官能基数が２以上７未満である植物由来原料から得られたポリオール（ｃ）と、
を含み、
ポリイソシアネート（ａ）は、ペンタメチレンジイソシアネート、ヘプタメチレンジイソシアネート、リジンジイソシアネート、リジントリイソシアネート，ダイマー酸ジイソシアネート、オクタメチレンジイソシアネート、およびデカメチレンジイソシアネートから選択される少なくとも１種の植物由来の脂肪族ポリイソシアネート（ａ１）と、ポリイソシアネート（ａ）中に４５重量％以上８０重量％以下含まれる、脂肪族ポリイソシアネート（ａ１）のイソシアヌレート１核体（ａ２）と、を含み、
ポリイソシアネート（ａ）および脂環族ポリイソシアネート（ｂ）の総イソシアネート基に対する、脂環族ポリイソシアネート（ｂ）のイソシアネート基のモル比（（ｂ）／（ａ）＋（ｂ））は、０．５以上０．８未満である、光学材料用重合性組成物。
【請求項２】
ポリイソシアネート（ａ）中にイソシアヌレート１核体（ａ２）が４５重量％以上７０重量％以下含まれる、請求項１に記載の光学材料用重合性組成物。
【請求項３】
さらに植物由来の化合物であるポリオール（ｄ）を含み、
ポリイソシアネート（ａ）および脂環族ポリイソシアネート（ｂ）の総イソシアネート基に対する、脂環族ポリイソシアネート（ｂ）のイソシアネート基のモル比（（ｂ）／（ａ）＋（ｂ））は、０．８～０．９５であり、

ポリオール（ｄ）は、グリセリン、ソルビトール、イソソルビド、シュークロース、α－メチルグリコシド、マンニトール、１，４－ブタンジオール、１，３－ブタンジオール、および１，３－プロパンジオールから選択される少なくとも一種である、請求項１または２に記載の光学材料用重合性組成物。
【請求項４】
ポリオール（ｃ）およびポリオール（ｄ）の総水酸基に対する、ポリオール（ｄ）の水酸基のモル比（（ｄ）／（ｃ）＋（ｄ））は、０．５～０．９である、請求項３に記載の光学材料用重合性組成物。
【請求項５】
ポリオール（ｃ）は、植物由来原料である、グリセリン、ソルビトール、イソソルビド、シュークロース、１，４－ブタンジオール、１，３－ブタンジオール、１，３－プロパンジオールから選択される少なくとも一種を原料として得られる、請求項１に記載の光学材料用重合性組成物。
【請求項６】
ポリオール（ｃ）は、ポリエーテルポリオール、ポリエステルポリオール、ポリカーボネートポリオール、ポリアクリルポリオールから選択される少なくとも一種である、請求項５に記載の光学材料用重合性組成物。
【請求項７】
ポリオール（ｄ）は、グリセリン、ソルビトール、イソソルビド、シュークロース、１，３－ブタンジオール、１，４－ブタンジオール、１，３－プロパンジオールから選択される少なくとも一種である、請求項３に記載の光学材料用重合性組成物。
【請求項８】
非金属触媒を含む、請求項１～７のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物。
【請求項９】
請求項１～８のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を重合硬化して得られた、ポリウレタン成形体。
【請求項１０】
バイオマス度が、２０％以上５０％未満である、請求項９に記載のポリウレタン成形体。
【請求項１１】
Ｔｇが６０℃以上である、請求項９または１０に記載のポリウレタン成形体。
【請求項１２】
請求項９～１１のいずれかに記載のポリウレタン成形体からなる光学材料。
【請求項１３】
請求項１２に記載の光学材料からなる、プラスチック眼鏡レンズ。
【請求項１４】
偏光フィルムの少なくとも一方の面に、請求項１～８のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を重合硬化して得られる層が積層している、プラスチック偏光レンズ。
【請求項１５】
レンズ注型用鋳型内に、請求項１～８のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を注入する工程と、
前記光学材料用重合性組成物を重合硬化する工程と、
を含む、プラスチック眼鏡レンズの製造方法。
【請求項１６】
レンズ注型用鋳型内に、偏光フィルムの少なくとも一方の面がモールドから離隔した状態で、該偏光フィルムを固定する工程と、
前記偏光フィルムと前記モールドとの間の空隙に、請求項１～８のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を注入する工程と、
前記光学材料用重合性組成物を重合硬化して、前記偏光フィルムの少なくとも一方の面にポリウレタン樹脂からなる層を積層する工程と、

を含む、プラスチック偏光レンズの製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
［１］　ポリイソシアネート（ａ）と、
　脂環族ポリイソシアネート（ｂ）と、
　水酸基価が３００～６５０ｍｇＫＯＨ／ｇであり、平均官能基数が２以上７未満である植物由来原料から得られたポリオール（ｃ）と、
を含み、
　ポリイソシアネート（ａ）は、ペンタメチレンジイソシアネート、ヘプタメチレンジイソシアネート、リジンジイソシアネート、リジントリイソシアネート，ダイマー酸ジイソシアネート、オクタメチレンジイソシアネート、およびデカメチレンジイソシアネートから選択される少なくとも１種の植物由来の脂肪族ポリイソシアネート（ａ１）と、ポリイソシアネート（ａ）中に４５重量％以上８０重量％以下含まれる、脂肪族ポリイソシアネート（ａ１）のイソシアヌレート１核体（ａ２）と、を含み、
　ポリイソシアネート（ａ）および脂環族ポリイソシアネート（ｂ）の総イソシアネート基に対する、脂環族ポリイソシアネート（ｂ）のイソシアネート基のモル比（（ｂ）／（ａ）＋（ｂ））は、０．５以上０．８未満である、光学材料用重合性組成物。
［２］　ポリイソシアネート（ａ）中にイソシアヌレート１核体（ａ２）が４５重量％以上７０重量％以下含まれる、［１］に記載の光学材料用重合性組成物。
［３］　さらに植物由来の化合物であるポリオール（ｄ）を含み、
　ポリイソシアネート（ａ）および脂環族ポリイソシアネート（ｂ）の総イソシアネート基に対する、脂環族ポリイソシアネート（ｂ）のイソシアネート基のモル比（（ｂ）／（ａ）＋（ｂ））は、０．８～０．９５であり、
　ポリオール（ｄ）は、グリセリン、ソルビトール、イソソルビド、シュークロース、α－メチルグリコシド、マンニトール、１，４－ブタンジオール、１，３－ブタンジオール、および１，３－プロパンジオールから選択される少なくとも一種である、［１］または［２］に記載の光学材料用重合性組成物。
［４］　ポリオール（ｃ）およびポリオール（ｄ）の総水酸基に対する、ポリオール（ｄ）の水酸基のモル比（（ｄ）／（ｃ）＋（ｄ））は、０．５～０．９である、［３］に記載の光学材料用重合性組成物。
［５］　ポリオール（ｃ）は、植物由来原料である、グリセリン、ソルビトール、イソソルビド、シュークロース、１，４－ブタンジオール、１，３－ブタンジオール、１，３－プロパンジオールから選択される少なくとも一種を原料として得られる、［１］に記載の光学材料用重合性組成物。
［６］　ポリオール（ｃ）は、ポリエーテルポリオール、ポリエステルポリオール、ポリカーボネートポリオール、ポリアクリルポリオールから選択される少なくとも一種である、［５］に記載の光学材料用重合性組成物。
［７］　ポリオール（ｄ）は、グリセリン、ソルビトール、イソソルビド、シュークロース、１，３－ブタンジオール、１，４－ブタンジオール、１，３－プロパンジオールから選択される少なくとも一種である、［３］に記載の光学材料用重合性組成物。
［８］　非金属触媒を含む、［１］～［７］のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物。
［９］　［１］～［８］のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を重合硬化して得られた、ポリウレタン成形体。
［１０］　バイオマス度が、２０％以上５０％未満である、［９］に記載のポリウレタン成形体。

［１１］　Ｔｇが６０℃以上である、［９］または［１０］に記載のポリウレタン成形体。
［１２］　［９］～［１１］のいずれかに記載のポリウレタン成形体からなる光学材料。
［１３］　［１２］に記載の光学材料からなる、プラスチック眼鏡レンズ。
［１４］　偏光フィルムの少なくとも一方の面に、［１］～［８］のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を重合硬化して得られる層が積層している、プラスチック偏光レンズ。
［１５］　レンズ注型用鋳型内に、［１］～［８］のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を注入する工程と、
　前記光学材料用重合性組成物を重合硬化する工程と、
を含む、プラスチック眼鏡レンズの製造方法。
［１６］　レンズ注型用鋳型内に、偏光フィルムの少なくとも一方の面がモールドから離隔した状態で、該偏光フィルムを固定する工程と、
　前記偏光フィルムと前記モールドとの間の空隙に、［１］～［８］のいずれかに記載の光学材料用重合性組成物を注入する工程と、
　前記光学材料用重合性組成物を重合硬化して、前記偏光フィルムの少なくとも一方の面にポリウレタン樹脂からなる層を積層する工程と、
を含む、プラスチック偏光レンズの製造方法。